

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2024年本屋大賞

# 本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト

10

2022年12月～2023年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈(新潮社)

2位

『水車小屋のネネ』

津村記久子(毎日新聞出版)

3位

『存在のすべてを』

塩田武士(朝日新聞出版)

4位

『スピノザの診察室』

夏川草介(水鈴社)

5位

『レーエнде国物語』

多崎礼(講談社)

6位

『黄色い家』

川上未映子(中央公論新社)

7位

『リカバリー・カバヒコ』

青山美智子(光文社)

8位

『星を編む』

凧良ゆう(講談社)

9位

『放課後ミステリクラブ』

1金魚の泳ぐプール事件』

知念実希人(ライツ社)

10位

『君が手にするはずだった黄金について』

小川哲(新潮社)

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。